

「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA

2025 年 4 月採用者審査 講評

1. 総評

お茶の水女子大学「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA（JST SPRING 事業 2024 年度採択）は、博士後期課程学生が挑戦的・融合的研究に専念し、社会との「共創」を通じて新たな価値を創出する人材の育成を目的としています。初年度にあたる 2025 年度 4 月採用者審査は、応募者の多様な研究計画と強い意欲が示された全体として質の高いものとなりました。

応募状況（参考 1）に示したように、初年度の募集にもかかわらず採択枠 23 に対して応募者数 39 名と多数の応募があり、採択倍率は 1.7 倍となりました。また、文理を問わず幅広い分野の学生からの応募が寄せられ、いずれも研究に対する高い熱意と独自の着想が示されました。T-COCOA の趣旨を理解し、研究テーマを社会課題や国際的動向と関連づけて説明しようとする提案や、学際的アプローチを打ち出した提案が多数見られ、こうした T-COCOA の「革新」×「共創」理念に適合した提案が多数寄せられたことを大変嬉しく思っております。

一方で、改善の余地のある提案も見られました。学術的な研究の重要性は十分に伝えられていたものの、社会へどのような価値を提供したいのかが曖昧だったり、博士号取得後の進路に関してアカデミア以外の進路での活躍を探究する意欲が感じられなかったり、共創を強調しながらも「想定される産業界との連携」といった抽象的な記述にとどまるケースが見られた点が残念でした。自らの研究を社会のイノベーションにどう生かしていきたいのか、伸び伸びと構想し、堂々と、具体的に表現していただきたいと思います。

書類審査では、「論理性」や読み手に一読で理解させる「構成力」、面接審査のプレゼンテーションでは、スライドのわかりやすさに加え、声の大きさや表情などを含めた「伝える力」、面接審査の質疑応答では、審査員と意欲的に会話のキャッチボールができる共創の基礎力となる「対話力」を重視しています。応募を検討する学生の皆さんには、挑戦的で革新的な研究計画を示すとともに、キャリア形成に関する展望を柔軟に描くことを期待します。研究の核と社会への接続を意識した計画が採択の大きな鍵となります。この国にイノベーションをもたらそうとする熱意溢れる皆様のご応募をお待ちしております。

2. 応募検討者に対する選考委員からのメッセージ

●共感力を大事にして、現場で手を動かしながら、一歩前に出られる、そんなパッションにあふれた人、是非応募してください！

●博士後期課程は自分の専門分野を「深め、極める」場です。そこで身につけた高度な知識や力を発揮できる舞台は、意外なほど多岐にわたっています。T-COCOA でそんな舞台に挑むためのスキルや視点を身に付け、のびのびと羽ばたいてほしいと思います。

「専門を極め、舞台は多岐に。T-COCOA で羽ばたこう」

●博士課程修了後、ご自身がどのようなキャリアを思い描いているのか、自分の知的好奇心を満たすだけでなく、世の中あるいは社会、学术界にどのような貢献をしていきたいのか、そのために博士課程でどのような経験をして、どのように成長することが必要で、T-COCOA をどう利用し、活用したいのか。皆さんの野心的な想いを聞かせて欲しいです。T-COCOA に応募することで、博士課程で取り組む研究に向き合い、将来のことを考える良い機会、良い経験になると思います。

●修了後の就職問題が気になって、博士後期課程への進学を躊躇しているあなた。博士課程修了後の進路は知の創造と同じく自ら拓くものです。T-COCOA は皆さんの未開の知と進路の開拓を全力で支援します。来たれ、面白がりの開拓者。高度な知の獲得によって、社会に価値あるものを生み出したい、誰かの笑顔を増やしたいと考えている方のご応募をお待ちしています。

参考 1. 応募状況

応募総数：39 名 採択数：23 名 採択倍率：1.7 倍

学年別内訳：2025 年度 D1 学生 9 名、D2 学生 8 名、D3 学生 6 名

専攻別内訳：応募数（採択数）

- ・比較社会文化学専攻：4 名（1 名）
- ・人間発達科学専攻：12 名（9 名）
- ・ジェンダー学際研究専攻：3 名（1 名）
- ・ライフサイエンス専攻：7 名（5 名）
- ・理学専攻：13 名（7 名）
- ・生活工学共同専攻：0 名（0 名）

参考 2. 選考方法

書類審査及び面接審査を応募者全員に対して実施しました。

審査は、専門領域における研究業績や研究計画、研究の意義、オリジナリティ、将来性といった一般的要素に加えて、T-COCOA 事業の趣旨を踏まえて、つぎの 2 つの能力を重視して実施しました。

- ① 研究成果をもって我が国の科学技術・イノベーションへ貢献しようとする意志・熱意
- ② 「革新」×「共創」の基盤となる研究能力・専門知識・社会で成果を上げうる能力・資質（コンピテンシー）。特に、論理的仮説検証力、論理的推定力、概念実証力（PoC）、創造的思考力、プロジェクトマネジメント力、場面に応じた的確で柔軟なコミュニケーション力